

iStorage ReplicationControl
FileSystem Option on Solaris Ver12.1
インストールガイド

はじめに

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございました。

このインストールガイドでは、iStorage ReplicationControl FileSystem Option のインストールに関して説明しています。使用方法に関しては、インストール媒体に電子マニュアルが格納されていますので、そちらをご参照ください。

なお、データレプリケーション機能の利用に際しては、iStorage DynamicDataReplication、iStorage RemoteDataReplication、あるいは iStorage RemoteDataReplication/DisasterRecovery のプロダクトを購入し、ディスクアレイに設定されているプロダクトのライセンスを解除する必要があります。

またスナップショット機能の利用に際しては、iStorage DynamicSnapVolume のプロダクトを購入し、ディスクアレイに設定されているプロダクトのライセンスを解除する必要があります。

備考


1. 本製品は、Solaris に対応しています。
2. 本文中の以下の記述は、特に明示しない限り、対応する製品名を意味します。

本文中の記述	対応する製品名
iStorageManager	WebSAM iStorageManager
ControlCommand	iStorage ControlCommand (※1) WebSAM Storage ControlCommandSet
FileSystem Option	iStorage ReplicationControl FileSystem Option
AccessControl	iStorage AccessControl
DynamicDataReplication	iStorage DynamicDataReplication
RemoteDataReplication	iStorage RemoteDataReplication
RemoteDataReplication/DisasterRecovery	iStorage RemoteDataReplication/DisasterRecovery
DynamicSnapVolume	iStorage DynamicSnapVolume

※1 バージョンにより製品名が異なります。Ver5.1 以降は本製品名となります。

3. 商標および登録商標
 - Sun は米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
 - Solaris は米国 Sun Microsystems,Inc.の登録商標です。
 - VERITAS、VERITAS Volume Manager、VERITAS File System、Symantec、Symantec Volume Manager、Symantec File System は Symantec Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - その他、記載されている製品名、会社名等は各社の商標または登録商標です。
4. 本文中は、特にご注意ください内容を以下で示しております。内容については必ずお守りください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、システム運用において影響がある場合があります。

表示の種類	
種 類	内 容
	操作において特に注意が必要な内容を説明しています。

目 次

第 1 章 導入	1
1.1 動作環境	1
1.2 インストールとアンインストール	2
1.2.1 インストール	2
1.2.2 アンインストール	3
1.2.3 アップデート	3

第 1 章 導入

1.1 動作環境

下記は、本バージョンの製品の初期出荷時点でサポートする動作環境です。

最新の情報については、PP・サポートサービス(事前の登録が必要)により提供しております。

ハードウェア	CX5000 シリーズ <データレプリケーション機能を利用する場合> iStorage M5000,M710,M700,M510,M500, M320,M310,M300, M120,M110, M100 シリーズ ただし、データレプリケーションのディザスタリカバリ機能は、以下のディスクアレイのみが対象 iStorage M5000,M710,M700,M510,M500 シリーズ <スナップショット機能を利用する場合> iStorage M5000,M710,M700,M510,M500,M320,M310,M300, M120,M110, M100 シリーズ
OS	<M シリーズ> Solaris10 (3/05, 1/06, 6/06, 11/06, 8/07, 5/08, 10/08, 5/09) ※1 ※2 Solaris11 ※1 ※2 ※1 Solaris10 で動作させる場合、大域ゾーン上でのみ動作可能です。非大域ゾーンには対応していません。 ※2 Solaris QLC 汎用ドライバは、Solaris10 で対応しています。
ソフトウェア	iStorage 基本制御(WebSAM iStorageManager を含む) AccessControl <データレプリケーション機能> DynamicDataReplication RemoteDataReplication RemoteDataReplication/DisasterRecovery <スナップショット機能> DynamicSnapVolume ControlCommand VERITAS File System 3.4 (Patch02) 以降 VERITAS Volume Manager 3.2 以降
メモリ	OS 必要メモリ + 7MB 以上
ディスク容量	プログラム容量 1.0MB 以上

1.2 インストールとアンインストール

1.2.1 インストール

以下の手順に従って、Solaris *pkgadd*(1M)コマンドを使用し、FileSystem Option をインストールします。

- (1) ルートでログインします。

※本ソフトウェアをインストールする前に、あらかじめ以下のソフトウェアをインストールしてください。

```
-----ソフトウェア-----  
  
iStorage ReplicationControl ControlCommand on Solaris Ver12.1 以降  
  
-----
```

- (2) NECiSMfso がインストール済みでないことを確認します。

```
# pkginfo | grep iSM
```

NECiSMfso がすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。

- (3) インストール媒体をサーバにセットします。

インストール媒体が利用できない場合は、iSMfso.pkg を別サーバからファイル転送してインストールしてください。

- (4) インストール媒体をマウントします。

通常は、インストール媒体を挿入することで自動的にマウントされます。

- (a) マウントディレクトリを作成 (例:/cdrom)

```
# mkdir /cdrom
```

- (b) mount コマンドによりマウント

なお、c##d#s#の値は、ご利用環境により異なります。

```
# mount -F hsfs /dev/dsk/c##d#s# /cdrom
```

- (c) インストール媒体のディレクトリに移動

```
# cd /cdrom
```

- (5) pkgadd コマンドを実行してインストールします。

```
# pkgadd -d iSMfso.pkg NECiSMfso
```

- (6) 以下のメッセージが出力されるとインストールは完了です。

```
Installation of <NECiSMfso> was successful.
```

- (7) インストール媒体をアンマウントします。

- (a) インストール媒体のディレクトリから移動

```
# cd /
```

- (b) umount コマンドによりアンマウント

```
# umount /cdrom
```

なお、上記(4)でインストール媒体が自動的にマウントされた場合は、インストール媒体を取り出します。

- (c) インストール媒体の取り出し

```
# eject
```


1.2.2 アンインストール

以下の手順に従って、Solaris *pkgrm*(1M)コマンドを使用して FileSystem Option をアンインストールします。

(1) ルートでログインします。

(2) FileSystem Option のコマンドが起動されているか確認します。

起動されている場合、処理の終了を待ち合わせるか、FileSystem Option のコマンドを強制終了してください。

(3) *pkgrm* コマンドを実行してアンインストールします。

```
# pkgrm NECiSMfso
```

(4) アンインストール中に表示されるメッセージに対し応答します。

Do you want to remove this package?

"y"を入力します。

(5) 以下のメッセージが出力されるとアンインストールは完了です。

Removal of <NECiSMfso> was successful.

なお、"/opt/NECiSMfso"のディレクトリ下にファイルが存在する場合は、ディレクトリおよびその下のファイルは削除されません。

1.2.3 アップデート

FileSystem Option のソフトウェアをアップデートする場合は、インストールされているソフトウェアを一旦アンインストールしたのち、ソフトウェアのインストールを行ってください。